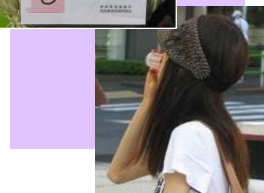


「ナショナル麻布奈良酒フェア」開催

若者と外人の街・南麻布のスーパーで「大和のうま酒」PR



東京の日本酒ファンや外国人に「大和のうま酒」を紹介する試飲・販売イベント「奈良酒フェア」が、9月17、18日の両日、東京南麻布のナショナル麻布スーパーマーケットで開かれ(午前11時～午後8時)、県内の28蔵元が丹精込めて造ったホンモノの味が来場者を楽しませました。奈良県と奈良県酒造組合が共催したもので、昨年につき2回目の開催です。



★ 都内で最もインターナショナルな街



若者と外人の街(左手奥がスーパーの店舗)

東京で最も刺激的で、若者や外国人も多い麻布界隈。ナショナル麻布スーパーマーケットも、南麻布周辺に住む各国の大使館員や外国人ビジネスマンが多く利用する店として知られます。そんなインターナショナルな場所で、古都・奈良の地酒をPRするという取り合わせの妙が、このイベントのユニークなところ。まさに「海外に日本酒を知ってもらうには絶好のロケーション」(県組合の担当者)といえます。

★ 各蔵の「奈良うるはし」が勢ぞろい

同店駐車場内に設けられたテント張りの特設会場には、各蔵が造った「奈良うるはし」(奈良県産の酵母と酒米を用いた県の統一ブランド)がズラリと並び、買い物がてら試飲を楽しむ人の中には、近所のマンションの住人で「去年も来たので今年も覗いてみました」という女性リピーターも。今回は、奈良県に大きな被害をもたらした台風12号の被災者のための募金活動も行なわれ、720ml1本につき売上から100円と蔵元から100円の計200円が義援金として被災者に送られました。



義援金の協力呼びかけ